



豊橋市多文化共生推進計画 2019-2023

〔概要版〕



豊橋市

1. 計画策定の趣旨

外国人の急激な増加への対応のため、国は2006年に「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、地方自治体の多文化共生推進に関する指針を示しました。これを受けて、愛知県でも2008年に「あいち多文化共生推進プラン」を策定しました。

本市においても、2006年に「平和・交流・共生の都市宣言」を行い、2009年には豊橋市多文化共生推進計画（計画期間2009－2013）を策定しました。2014年には、時勢の変化も踏まえた改定を行い、その基本理念や基本目標のもと、これまで様々な分野で多文化共生に資する施策に取り組んできました。

しかし、本市の状況を見ると、2008年のリーマンショック以降減少を続けていた外国人人口、とりわけブラジル人の人口減少が2015年に下げ止まり、再び増加に転じています。また、フィリピン人をはじめとした東南アジア諸国出身者の増加など、外国人市民の多国籍化、在留資格の構成の変化、国の外国人受入れ施策の拡大など、本市の多文化共生を取り巻く環境は大きく変わってきています。

そこで、前計画の期間の終了を機に、今日の状況に即した、より実効性の高い多文化共生施策を総合的に進めていくため、「豊橋市多文化共生推進計画2019－2023」（以下、「本計画」という。）を策定しました。

2. 計画の期間

2019年度から2023年度までの5年間とします。

2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
	(前計画)					多文化共生推進計画						
	平和・交流・共生の都市宣言 推進基本計画					平和・交流・共生の都市宣言推進指針						
	第5次豊橋市総合計画(2011-2020)							第6次豊橋市総合計画 (2021-2030)				

3. 基本理念

互いの国籍や文化を認め合い、誰もが安心して元気に暮らせるまちづくり

国籍や民族・文化の違いを多様性に満ちた地域特性として活用し、異なる価値観や異文化を全ての市民が理解し、尊重し合いながらその豊かさを共有し、日本人市民も外国人市民も隔てなく地域にともに暮らす「豊橋市民」としてとらえる「多文化共生社会」の実現を目指します。

4. 施策の方針

施策の方針Ⅰ 「多文化共生理解の促進」

国籍や民族の違いによらず、全ての市民の人権が尊重されることにより、暮らしやすい平和で明るい社会が実現されます。

また、地域の日本人市民と外国人市民が、互いの異なる生活習慣や文化、価値観を認め合い、ともに協働することにより、外国人市民が日本人市民と同様に地域社会を支える担い手となり、地域の一層の活性化や発展につながります。

施策の方針Ⅱ 「生活環境整備の推進」

外国人の日本の法令や生活習慣などに対する理解と遵守を促進し、外国人市民を地域の生活者、地域住民として受け入れることが一層求められています。

生活環境や教育環境の整備により、日本人市民と外国人市民が共生する地域づくりを進めることで、外国人市民のみならず、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりにつながっていきます。

施策の方針Ⅲ 「活力ある社会づくりの推進」

日本人市民と外国人市民が、ともに地域を支えていくためには、地域の生活者として必要な各種支援を、日本人市民同様に進めていく必要があります。

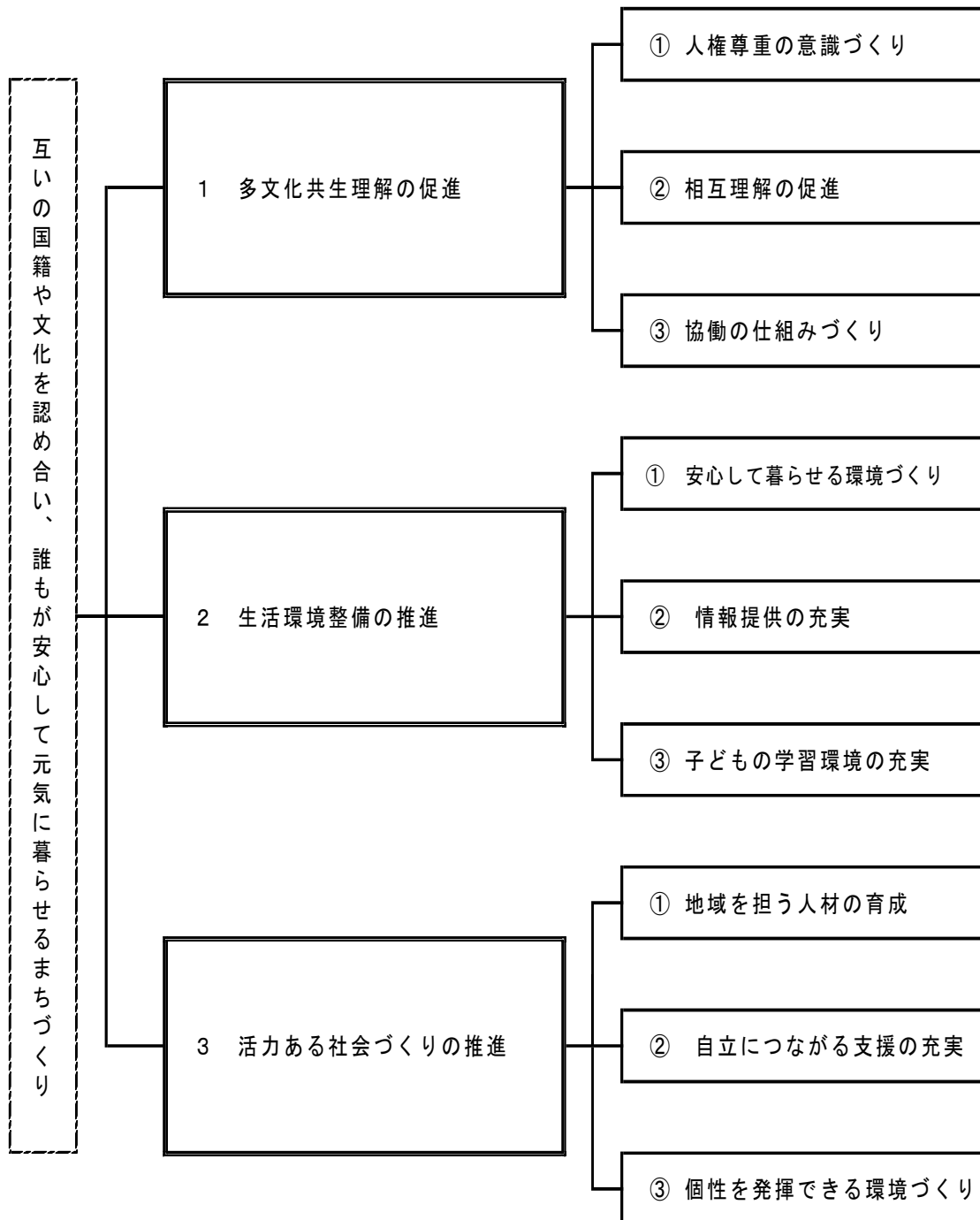
自立化に向けた支援がなされることで、生活基盤の安定化が図られます。また、外国人市民が持つ日本人市民とは異なる価値観、文化、個性が発揮される環境を整備することで、既存の日本人市民の価値観と融合し、新たな価値観の創造や地域の創生につながっていきます。

5. 計画の体系

【基本理念】

【施策の方針】

【施策】



ライフステージにおける切れ目のない施策の実施

【主要ターゲット世代】

【想定される主な施策】

<p>乳幼児期～子ども期 (概ね14歳まで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談の充実 ・保護者向け子育て教育の検討 ・日本の学習環境の啓発 ・外国人児童生徒に対する教育相談の充実 ・中学生への日本語学習強化 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>青年期 (概ね15歳から20代前半まで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアプランセミナーやインターンシップ体験実施の検討 ・留学生の活躍支援の実施 ・高校生年齢に対する学習支援の検討 ・奨学金制度の周知 ・就職につながる支援の検討 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>成人期 (概ね20代後半から64歳まで)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流協会や日本赤十字社、自治会など関係団体と連携した、外国人市民の活躍の場所づくりの検討 ・多文化共生の人材育成につながる機会の創出 ・就労につながる日本語学習支援の充実や啓発 ・外国人市民に対する自治会の周知 ・集住都市会議や愛知県と連携した外国人の雇用環境・条件の適正化を図る企業向け啓発の実施 ・日本の企業の慣習やマナーなどに関する講座の実施 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>老年期 (概ね65歳以上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・永住化を踏まえた社会保障制度の周知 ・ライフプランセミナーの実施 ・介護人材の育成支援 ・介護への向き合い方についての啓発 ・高齢者福祉サービスの周知 <p style="text-align: right;">など</p>
<p>全世代</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学習機会の充実 ・国際理解事業の充実 ・医療通訳システムの利用啓発 ・ITなどを活用した情報提供の充実 ・防災意識の啓発 <p style="text-align: right;">など</p>

6. 計画内容

施策の方針1：多文化共生理解の促進

【目指すべき姿】同じまちに暮らす隣人として、尊重し合い生活できる社会

目標指標：①外国人市民が増加することを好意的に感じる市民の割合

現行値（2018）44.6% 目標値（2023）55.0%

②多文化共生にかかる出前講座の実施回数

現行値 — 目標値 5回/年

③外国人市民の審議会等への登用人数

現行値（2018）10人 目標値（2023）15人

主な実施事業

施策の方針	施策	施策の内容
多文化共生理解の促進	人権尊重の意識づくり	【全世代】 人権尊重意識高揚の講演会・啓発
		【全世代】 多文化共生推進主任者の配置
		【子ども期】 学校教育を通じた人権教育
	相互理解の促進	【成人期】 地元懇談会等の開催
		【全世代】 相互理解を図るイベントの開催
		【成人期】 社会教育活動を通じた多文化共生意識づくり
		【全世代】 「やさしい日本語」の活用啓発
		【全世代】 ポルトガル語ラジオ講座アーカイブ版の提供
		【全世代】 「とよはし・ザ・ワールド」の実施
		【全世代】 多文化共生出前講座の実施
	協働の仕組みづくり	【成人期】 自治会加入促進のための啓発活動の実施
		【成人期】 市営住宅新規外国人入居者向け自治会説明の実施
		【成人期】 外国人情報窓口の設置
		【成人期】 実態調査・アンケート調査の実施
		【成人期】 外国人市民の審議会等への登用
		【成人期】 外国人市民会議の開催

【I】はライフステージにおける主なターゲット世代)

施策の方針 2：生活環境整備の推進

【目指すべき姿】誰もが地域の生活者として、安心して暮らせる環境

目標指標：①豊橋が住みやすいと答えた外国人市民の割合

現行値（2017）82.5% 目標値（2023）90.0%

②外国語での情報提供件数

現行値（2017）56,881件 目標値（2023）60,000件

③学校生活に満足している外国人児童生徒の割合

現行値 — 目標値（2023）65.0%

主な実施事業

施策の方針	施策	施策の内容
生活環境整備の推進	安心して暮らせる環境づくり	【成人期】 多文化共生モデルの展開
		【全世代】 外国人相談業務の充実
		【成人期】 企業内研修の啓発
		【子ども期】 外国人児童を対象とした放課後子ども教室の実施
		【子ども期】 外国人母子保健相談
		【子ども期】 切れ目のない子育て支援事業
		【全世代】 防災講習会・訓練などの実施
		【全世代】 災害時通訳ボランティア事業の実施
		【全世代】 防犯・交通安全などの講習会の開催
		【全世代】 あいち医療通訳システムの活用
	情報提供の充実	【成人期】 地域コミュニティ通訳・翻訳業務の実施
		【全世代】 「広報とよはし」のデジタルブック化
		【全世代】 外国語版ホームページの充実
		【全世代】 行政サービスの周知を多言語・「やさしい日本語」にて実施
		【全世代】 多文化共生情報のSNSによる提供
		【全世代】 外国人市民が多数集まる施設・団体との連携
		【全世代】 外国人向け図書の収集・利便性向上
		【全世代】 外国人向け「豊橋ほっとメール」での緊急情報の提供

〔I〕はライフステージにおける主なターゲット世代)

施策の方針	施策	施策の内容
生活環境整備の推進	子どもの学習環境の充実	【子ども期】 中学校、高等学校での進路指導の充実
		【子ども期】 就学支援・教育相談窓口の充実
		【子ども期】 外国の交流都市との教育交流の実施
		【子ども期】 海外協力交流研修員受入事業の実施
		【子ども期】 国際協力職員派遣事業の実施
		【子ども期】 外国人児童生徒相談コーナーの充実
		【子ども期】 外国人児童生徒対応教員・教育相談員の充実
		【子ども期】 外国人児童生徒教育研究の実践と拡大
		【子ども期】 不登校・不就学児童生徒への取組み
		【子ども期】 プレスクール事業の実施
		【子ども期】 定住外国人の子どもの就学促進事業（虹の架け橋教室）
		【子ども期】 定住外国人高校生の日本語学習支援事業
		【子ども期】 外国人児童サマースクール事業

【I】はライフステージにおける主なターゲット世代)

施策の方針3：活力ある社会づくりの推進

【目指すべき姿】誰もが夢と希望を持ち、個性を發揮できる社会

目標指標：①多文化共生・国際交流におけるボランティア数

現行値（2017）252人 目標値（2023）300人

②日本語能力試験合格者数

現行値 ー 目標値 15人／年

③外国人であることに差別を感じない割合

現行値（2017）72.0% 目標値（2023）75.0%

主な実施事業

施策の方針	施策	施策の内容
活力ある社会づくりの推進	地域を担う人材の育成	【全世代】 多文化共生に関わる人材の育成
		【青年期】 国際協力経験者等とのネットワークの構築と活用
	自立につながる支援の充実	【全世代】 日本語学習機会の充実
		【子ども期】 子ども・若者支援事業の実施
		【全世代】 外国人のための日本文化教室
		【成人期】 外国人税務相談会の実施
		【老年期】 ライフプランセミナーの実施
		【成人期】 メンタルヘルス相談事業
		【青年期】 日本語能力試験等の受験に関する支援
	個性を發揮できる環境づくり	【青年期】 留学生の生活・就職に関する支援
		【成人期】 起業相談・支援の実施
		【成人期】 就業支援ネットワーク会議などとの連携
		【青年期】 留学生パスポートの発行
		【青年期】 留学生バス回数券補助事業
		【青年期】 留学生企業見学ツアー

【I】はライフステージにおける主なターゲット世代)

豊橋市多文化共生推進計画

2019-2023

【概要版】



豊橋市多文化共生推進計画 2019-2023 (概要版)

2019年 3月

発行：豊橋市市民協創部多文化共生・国際課

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地

Tel (0532) 51-2007

Fax (0532) 56-2110

Email kyoseikokusai@city.toyohashi.lg.jp